

宮古発

震災から6年7か月

震災から6年7か月になるのにあわせて宮古警察署の署員13人が市内田老の小堀内漁港で雨が降りしきる中、捜索を行いました。この付近では海岸線の捜索が何度か行われており、今回は陸中心に捜索が行われ、警察官たちは崖部分を熊手などを使って捜索していました。県内では8月末現在で未だ1121人の行方がわかっていません。(10/11 ニュースエコー)



盛岡第三高校の1年生およそ300人が宮古市魚市場を訪れ、津波や台風からの復興の現状や地域活性化の取り組みを学びました。これは被災地での教育旅行を進めているさんりく基金・三陸DMOセンターが体験プログラムツアーとして企画したものです。参加した生徒たちは水揚げやセリを見て復興を肌で感じると共に地域で活躍する若者の取り組みに大きな刺激を受けた様子でした。(10/12 ニュースエコー)

宮古発

被災地体験プログラム

盛岡第三高校の1年生およそ300人が宮古市魚市場を訪れ、津波や台風からの復興の現状や地域活性化の取り組みを学びました。これは被災地での教育旅行を進めているさんりく基金・三陸DMOセンターが体験プログラムツアーとして企画したものです。参加した生徒たちは水揚げやセリを見て復興を肌で感じると共に地域で活躍する若者の取り組みに大きな刺激を受けた様子でした。(10/12 ニュースエコー)



三陸鉄道に女性運転士がデビューしました。デビューしたのは宇都宮聖花さん23歳です。宇都宮さんは高校卒業後、首都圏の鉄道会社で働いてきましたが去年、故郷の宮古市に戻りました。宇都宮さんは「これからはお客様に信頼され、愛される運転士となるよう努力しますので応援よろしくお願ひします」と話していました。(10/14 ニュース)

宮古発

女性運転士がデビュー

三陸鉄道に女性運転士がデビューしました。デビューしたのは宇都宮聖花さん23歳です。宇都宮さんは高校卒業後、首都圏の鉄道会社で働いてきましたが去年、故郷の宮古市に戻りました。宇都宮さんは「これからはお客様に信頼され、愛される運転士となるよう努力しますので応援よろしくお願ひします」と話していました。(10/14 ニュース)



三陸鉄道に女性運転士がデビューしました。デビューしたのは宇都宮聖花さん23歳です。宇都宮さんは高校卒業後、首都圏の鉄道会社で働いてきましたが去年、故郷の宮古市に戻りました。宇都宮さんは「これからはお客様に信頼され、愛される運転士となるよう努力しますので応援よろしくお願ひします」と話していました。(10/14 ニュース)



陸前高田発

全国太鼓フェスティバル

太鼓の甲子園とも呼ばれる「全国太鼓フェスティバル」が陸前高田市立第一中学校で開かれました。全国から10団体が集まり、福岡県糸田町から参加した団体は小学6年から高校3年までの11人が若さあふれるばちさばきを披露しました。また



地元の氷上太鼓や気仙町けんか七夕保存会などの演奏が披露されると観客からは大きな拍手が起きていました。このフェスティバルは来年、高台に整備が進む総合交流センターに会場を移す予定です。(10/15 ニュース)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが、10月から始まった2つの新番組について紹介してくれました。1つ目は、大船渡市出身でプロのソプラノ歌手・土井尻明子さんの【みじか〜にMUSIC A(むじか)】という、クラシック音楽をもっと身近に感じてほしいとの願いを込めたコーナーで、毎週金曜朝7時54分からの放送です。2つ目は、ラジオドラマ【虹と雲】。シナリオは気仙在住の方、声優は気仙沼市の方3名。震災を経験した高校生3人と社会人2人を中心に繰り広げられる内容です。震災当時の事を振り返りながらも、前向きに今を進む様子や忘れることのない傷を背負っている様子などが描かれていて、毎週金曜夕方6時25分から放送しているという事です。(10/11)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122